

「佐渡市図書館ビジョン」策定スケジュール（案）

日 程	内 容
平成 30 年 5 月 24 日	第 1 回図書館協議会 図書館ビジョン策定に向けた「図書館運営等の理念」、「基本的な柱」、「取組みの方向」等を委員から意見等をいただく（6 月 23 日まで）
6 月 23 日～ 7 月 19 日	委員からの意見をいただいた内容に基づく素案（たたき台）作成（作成中）
7 月 26 日	第 2 回図書館協議会 委員等から素案（たたき台）について意見をいただき、素案を仕上げる。 今後のスケジュール的なところを確認
8 月下旬～ 9 月中旬	図書館・図書室を考える懇談会の実施 ・全地区
9 月末	第 3 回図書館協議会 開催予定 市民からの意見集約、ビジョンへの反映等を協議いただく
10 月中旬～ 12 月末	パブリックコメント実施
平成 30 年 1 月中旬	第 4 回図書館協議会 開催予定 パブリックコメント意見集約、ビジョンへの反映等を協議いただく
2 月末	佐渡市教育委員会 議案提出
平成 31 年度	佐渡市図書館ビジョン策定

「佐渡市図書館整備計画（新市建設計画）」策定スケジュール（案）

図書館整備計画策定の概要

佐渡市における少子・高齢化、情報通信環境の進展等、大きく社会が変化し続けております。

また、公共施設の統合や解体等に対する反発も多くある中、身近な学習施設として図書館・図書室が果たさなければならない役割は、これまで以上に期待と要望があふれております。

その現状で、最近の庁舎整備計画における、新穂図書室、両津図書館は複合施設として注目を浴びております。

特に新穂図書室については、平成 29 年度から地域のボランティア団体と連携した取り組みが実施され、図書室を中心とした地域づくりが確立されようとしています。

これを受け、図書館整備計画についても図書館が中心となった地域づくりを目指し、社会的・地域的な格差を解決するために、身近にある図書館・図書室を地域づくりに活用する仕組みが必要と考えます。

また、市民の夢が叶う、ビジネス支援や暮らしに役立つ図書館の実現を目指し、図書館と関係機関と連携しながら、地域の課題に寄り添う図書館づくりが必要であると考えます。

そのために、以下の取組が必要と考えます。

○中央図書館の充実

現在の中央図書館は、合併前金井図書館を中央図書館とし現在に至る。

また、新佐渡総合病院の建築により、救急外来入口に近いこともあり図書館駐車場を利用されることもある。

救急車、ドクターヘリ等の騒音があり、図書館としての場所が課題である。

- ・面積 1155.1 m²
- ・駐車場 14 台（障がい者用 1 台含む）＋第 2 駐車場 5 台 = 19 台
- ・蔵書数 121,692 冊（H29 末） 書庫スペース無し 倉庫スペース無し
- ・来館者数 61,963 人 1 日平均 220 人

【案 1】

現在の金井地区で土地を購入し、中央図書館を建築する。

【案 2】

佐和田体育館跡地に中央図書館を建築する。

※延床面積 2,500 m² （新発田市中央図書館程度）

※生涯学習センター、文書館を併設（4,000 m²）

○分館（各図書館・図書室）の継続

地域づくりを目指すためには、各図書館・図書室は必要である。

しかし、蔵書については規模縮小する。

あらゆる年代の市民が読書に親しみ、地域課題に寄り添うよう、地域に根付いた図書館として運営する。

また、支所及び行政サービスセンター内に設置し、平成 31 年度からの教育委員会新体制との連携を図る。

佐渡市図書館整備計画については、佐渡市の「新将来ビジョン」の動向を見ながらでしたが、新市建設計画が動き出したことによる、図書館建設計画について必要と考える。

平成 32 年度からの図書館整備計画

中央図書館平成 34 年度建築完成を目指したスケジュール

日 程	内 容
7 月 26 日	第 2 回図書館協議会 新市建設計画の概要説明 委員からのご意見をいただく
8 月下旬～ 9 月中旬	図書館・図書室を考える懇談会の実施 佐渡市の図書館の在り方について 地域での図書館の必要性等
9 月末	第 3 回図書館協議会 開催予定 佐渡市図書館整備計画についてのご意見をいただく 中央図書館改築の必要性、各図書館・図書室のあり方について
平成 31 年度	佐渡市図書館整備計画策定
平成 32 年度	基本設計、実施設計
平成 33 年度	建設工事
平成 34 年度	中央図書館建設完成 4 月 1 日 オープン